

# 温泉病院だより③

発行：医療法人 協和会 協立温泉病院  
 編集：協立温泉病院 広報委員会  
 医療法人協和会  
**協立温泉病院**  
 Kyoritu Onsen Hospital  
 川西市平野1丁目39番1号  
 ホームページアドレス  
 WWW.kyowakai.com



九月の中旬、当院の近隣にあり  
 ます「キッズスクエアウッドデイト  
 ーマス」保育所の愛らしい天使達  
 が、当院通所リハビリテーショ  
 ンを慰問に、訪れました。  
 「お年寄りとの、交流の場を探し  
 ていたんです。」と、保育所代表  
 の方がおっしゃいました。一歳か  
 ら四歳の園児達のお散歩コース  
 を、徒歩で当院通所リハビリに到  
 着しました。

愛らしい、天使達が  
 通所リハビリを訪問  
 (利用者もスタッフも感激)



ビニールで作った色鮮やかな  
 衣装をつけて「おもちゃのチャ  
 チャチャ」と「大きな栗の木の  
 下で」のおゆうぎを元気いっぱ  
 いに披露してくれました。  
 最初は、緊張していた園児達  
 も、なごやかな雰囲気になん  
 で、お年寄り達と輪になって、  
 一緒に踊ったり工作を作ったり  
 して楽しい時間を過ごしました。

主任 和田伸子



**二階北病棟紹介**  
 二階北病棟は、温泉病院で唯一  
 の一般治療病棟で、スタッフ構成  
 は(少し恐め?)のY課長をはじめ  
 め、看護師二十七名・看護助手は  
 十一名で入院患者様のお世話を  
 させて頂いております。  
 スタッフは、忙しさの為かいつ  
 も怖い顔をして仕事をしていますが、保育  
 イメージが強いようですが、保育  
 所に子供を預けながら、育児と両  
 立で頑張る優しい現役ママさん  
 が他部署より一番多く、子育てを  
 終え熟年を満喫している人、独身  
 貴族を楽しんでいる人、各々の発  
 想・個性を生かし日夜頑張ってい  
 ます。当病棟では、重症患者様の  
 治療、又当院入院の窓口として、  
 治療・療養がスムーズに受けて頂  
 ける様、患者様の個性を取り入れ  
 た状態の把握、患者様の状態変化  
 への対応の役割を、担っております。  
 患者様に安全・安楽に充実し  
 た、入院生活を送って頂くことが  
 でき、退院へ向けてケースワー  
 カー・リハビリスタッフとの連携  
 の元、家族の方にも理解が得られ  
 支援頂ける様、スタッフ一同日々  
 努力を重ねていきたいと考えて  
 おります。

投稿者 匿名希望

### 「患者様の権利」に関する宣言

- 平等で適切な医療を受ける権利**  
 患者様には、差別される事なく適切な医療を受ける権利があります。
- 自己決定の権利**  
 患者様には、十分な説明のもと医療行為を選択・拒否する権利があります。
- 情報を知る権利**  
 患者様には、医療に関する情報を知る権利があります。
- 秘密保持を得る権利**  
 患者様には、医療従事者が知り得た全てのプライバシーを守られる権利があります。
- 尊厳を得る権利**  
 患者様には、いかなる時にも尊厳をもって扱われる権利があります。

### 看護部の理念

豊かな心 心の看護

### 看護部の方針

私達には、患者様に看護職者としての専門技術、知識を駆使した質の高い看護を提供する使命があります。  
 患者様との信頼関係を築き、人間性を尊重すると共に関係部署、地域との連携を深め安心と満足を提供する事ができる医療チームの一員としての役割を果たします。

### 病院理念

愛と信頼で築く医療

### 基本姿勢

- 私たちは、**こころがられあう温かい医療**を提供いたします。
- 私たちは、**患者様の選択に基づく医療**に努めます。
- 私たちは、**専門知識の修得と技能向上**に励みます。

# 六階病棟紹介

温泉病院は、七階建のビルであります。一階から五階までは南・北に二個病棟をもっています。六階は、一個病棟であり、他の八病棟より広いスペースを保有しています。

病床数は五十五床であります。内三十一床が個室となっております。点が他の病棟と大きく異なっている特徴といえます。また、病棟詰所が南北の中央に位置しています。そのため、ナースコールが鳴りますと、ロビーに出ましても東・西・南・北の確認が必要になるため、動線が長いという難点もあります。

一般病棟から療養型病棟へ変更され早三年になります。個室の多い病棟ということもあり、特にターミナル・緊急入院・夜間不穏の患者様等、色々なケースを受入れねばなりません。質の高い看護・介護を提供することはもちろん、患者様のQOL向上をめざしています。

全般に、創意工夫を重ね抑制廃止と医療事故防止に努め、動き回る患者様と共に、スタッフが徘徊を余儀なくされているのが現状です。

午前中は、体操・起立訓練・入浴介助・足浴・手浴を、週二回実施しています。午後は、病棟個別リハビリ・病棟レクリエーション等、めまぐるしい中にもいきいきと活発に活動しています。

排尿・排便の介助につきましましては、マニュアルに添って「自然に」をモットーにケアを行い、現在六階病棟では、導尿バルーン挿入者はゼロ、排便ケアは、水分管理・腹部マッサージ・運動を実施し、下剤処置を減らす努力をしています。

患者様に、人としての基本的な生活リズムと生活空間の拡大を図るため、更衣は朝・夕、口腔ケア・歯磨きは、一日二回全員が実施しています。

摂食機能訓練の一環として、嚥下準備体操を取入れ患者様自ら摂食出来るように援助する等、介助すべき事柄は山積しています。これらの状況の中で、病棟スタッフ三十三名は広い病棟を走り廻っています。その原動力となる足は「守口大根」ではなく「青首大根」のような、小太りしたシルクのようなツヤツヤ肌の足に育っています。又、自称「静御前」を筆頭に、温泉病院最強の音声保持者が、三名も六階病棟に集結しています。そして、課長と主任のアンパランスなチームワークの良さが、六階病棟スタッフのやる気を盛り立てていることを申し添えておきます。

## 六階病棟 課長

城山 アケミ

## ご意見箱

協立温泉病院では、病院ご利用の皆様へのサービス向上の目的で「ご意見箱」を各階に設けています。患者様及びご家族様の、ご意見・ご要望を遠慮なくお聞かせ下さい。

7月1日から10月末日までにお寄せ頂きましたご意見は、21件ございました。

お寄せ頂きました、ご意見の一部を、ご紹介させていただきます。

### ご意見 その一

診察は早くすむのですが、計算でとても長くまたされます。以前はこんなことなかったのに。(一年位前までは)ご一考下さい。その他は大変結構です。

### お答え

会計業務の内、診療費計算事務につきましては、計算ミスをお犯しすると、患者様・御家族様に多大のご迷惑をおかけすることになります。当院では、診療費計算事務を必ず二重チェックにより計算ミス皆無に務めています。しかし、業務手順の見直しを図りまして、お待ち頂く時間の短縮改善に努めます。

### ご意見 その二

#### 【駐車場でのリハビリについてお願い】

駐車場で、歩く練習をさせておられますが、急いで出ようと思っても、そこで歩く練習をされていますと、横切のを待たなくてはならず、その間に駐車料も上がってしまいます。それと、危ないのでやめて頂きたいのです。

### お答え

ご意見ごもっともです。駐車場でのリハビリ歩行訓練は、実施しないよう指導・徹底いたしました。

### ご意見 その三

いつも、献身なる看護をありがとうございます。看護婦さんは、お忙しく少々体調が悪くても、休みを取れないのが現状と存じます。

しかし、患者は全く無抵抗力者であり、ある看護婦さんが、廊下でひどい咳をされている姿を見てかなり心配をしてしまいました。看護婦さんも軽い症状ですと、休めませんので病院側からも、休暇旅行、又はマスク等対応の検討をお願いします。

### お答え

全職員に対しまして、常に健康管理・早期受診の励行を指導いたしておりますが、特に症状等ひどい場合に担当部署の長が、判断して休暇処置を行なっています。また、咳が出る職員に対しましては、マスク着用を義務付けまして、患者様への感染防止に努めるようにしていますが、再度指導徹底を図ります。

【貴重なご意見、誠にありがとうございました。】

## よりよい診療をうけるために

当院では、患者さま参加型の医療を目ざしております。受診される方と病院の両者がお互いに尊敬し、協力し合うことが良質の医療につながると考えますのでご協力をお願いいたします。



- 受診される方は、ご自分の健康状態について正確な情報をお伝え下さい。
- 病気の診断、治療などについて疑問な点は、遠慮なくお尋ね下さい。
- 治療や処置は十分な説明を受け、納得の上でお臨み下さい。
- 患者さまの人権、プライバシーは守られております。玄関ロビーや各フロアの「宣言」にも掲げておりますのでご覧下さい。
- 患者さま、御家族さまも医療行為の確認者になって下さい。
- 病気に関して、他院医師の意見をお聞きになりたい場合は、遠慮なくご相談下さい。
- 疑問や御不満な点は遠慮なくスタッフにお知らせ下さい。
- 病院内の「ご意見箱」などを利用してご意見をお寄せ下さい。

## 【編集後記】

当院をご利用頂いております、患者様及びご家族様並びに地域にお住まいの皆様は協立温泉病院を知って頂きたいと思ひまして、「温泉病院だより」を、平成十四年三月に第一号を創刊いたしました。

今回は、愛らしい天使達が、当院通所リハビリテーションを慰問に訪れました。通所リハビリユーザーと園児のふれあい風景を一面に掲載しました。シリーズ特集として、病棟紹介を「病院理念」・「患者様の権利」・「看護部の理念」を一面に、「よりよい診療をうけるために」を二面に、それぞれ掲載し「温泉病院だより」第三号を発行いたしました。

なお、広報紙の記事につきまして、ご感想・ご要望等、ご意見をお寄せ下さい。次号、編集業務の参考とさせていただきます。

平成十四年十一月 編集長